



# 再選めざす 日本共産党 そねはじめレポート

2010年 3月4日発行 第9号

そねはじめ事務所  
114-0003  
北区豊島 2-8-4  
Tel: 3914-1995  
Fax: 3914-5400

## 区議会代表質問で4党が北社保病院をとりあげ 「現状の医療体制の存続」を区長も国に要望！



今通常国会で北区ゆいいつの総合病院・東京北社会保険病院の公的存続法案が審議されます。

区議会では2月23日、共産党、自民党、民主党、あすか新生が代表質問で病院問題を取りあげました。

共産党・福島議員の質問は、区議会全会一致「公的存続・拡充を求める」決議の趣旨を明記するよう国に要望することを求めました。

### ●自民党も”売却路線”を断念か

自民党・山崎議員は、政府法案で全国社会保険病院を3年後に国の独立行政法人の直営にするとしており、北社保病院を運営中の地域医療振興協会が続けられる保障がないと批判。現状維持を求めるよう主張しました。

社会保険病院を今のまま継続するというなら、自ら進めてきた民営化・売却路線の失敗をはっきり認めるべきです。

### ●民主党は法案不備の打開に責任を持つ

民主党・大畑議員は「欠陥法案とは言えない」と言い訳しながらも、現法案に不備があることを認め、区長が政府に現行医療体制継続を求めるよう要望しました。政権与党として法案にどう責任を果たすのか、不明確な質問といわざるをえません。

あすか新生も社保病院の現状維持を要望しました。

### ●区長も国への要望書提出へ

区長は、同病院が現在の地域医療振興協会に委託のまま存続できるよう、長妻厚労大臣に要望書を提出すると答弁し、3月初旬に実施されました。

また区長自身が小沢氏に既に会い、小沢氏が北社保病院などの存続に不安があることについて、政府法案に問題が無いか良く調べるよう指示したことも紹介し、法案を提出した与党の民主党自身が、今後の展望を持ちきれていないことが明らかになりました。

公明党は代表質問で社保病院に触れませんでした。政権陥落後も地元住民に対し民間売却は可能だと発言しており、民営化路線に固執しています。

### ●地域医療を守る正念場

区議会は、2007年12月全会一致意見書の「公的存続・拡充」という原点に立ち返り、国に病院保有の責任を持たせ、地域医療振興協会が住民要望に応えて築いてきた医療水準を守り、周産期医療センター構想実現にむけ超党派で力をつくすことが求められています。